

高齢化・人口減少社会の交通事業：その運営・経営の処方箋——

地域公共交通政策の策定・推進とまちづくりとの連動

～移動手段の選択肢化をめざした公共交通再編と地域公共交通制度利活用の方策～

- 人口減少・高齢化時代の公共交通事業の再構築—線から面へのネットワーク形成と移動手段の選択肢化
- 地域公共交通事業のマネジメント方策—日本版「運輸連合」実現への戦略と可能性
- 変化する制度の活かし方—交通政策基本法、改正活性化・再生法、タクシー特措法、自家用有償運送

【講師】 **吉田 樹** 氏／福島大学経済経営学類准教授

国土交通省東北運輸局「地域公共交通東北仕事人」

日時会場

2015年3月23日(月)
13:00～17:00

≪会場提供≫内田洋行
東京ユビキタス協創広場
CANVAS会議室

時	講 義 内 容
13:00 > (休憩) > 17:00	1. 地域公共交通はなぜ衰退したか？ (1) モータリゼーションの進展と少子高齢化「だけ」のせいにしていないか？ (2) 行政、交通事業者、地域の役割分担は明確か？
	2. 地域公共交通はなぜ必要か？ (1) 「おでかけ」機会を拓げる地域公共交通 (2) マイカー社会の「限界」を乗り越える地域公共交通 (3) まちづくりのトリガーとなる地域公共交通
	3. 「使われない」地域公共交通からの変革 (1) 「一見さんお断り」の地域公共交通 (2) サービスやネットワークを分かりやすく「見せる」コツ (3) 地域公共交通を移動手段の「選択肢」として捉えてもらうために
	4. 変化する地域公共交通制度を徹底解説 (1) 交通政策基本法の理念 (2) 改正地域公共交通活性化・再生法をどう活用するか？ (3) 改正タクシー特措法、自家用有償運送の権限移譲をどう捉えるか？
	5. 地域公共交通網形成計画・地域公共交通再編事業の考え方 (1) 網形成計画の意義 (2) 地域公共交通網の「面的な」再構築をどう進めるか～ (3) ネットワークの軸と拠点を明確にする (4) 協議会を「実質化」するための戦術
	6. これからの公共交通事業マネジメント (1) 制度のフル活用で「日本版『運輸連合』」を構築する (2) 「赤字だから補助する」という論理からの脱却
	7. 地域が自ら「おでかけ」を支えるために (1) 「おでかけ」の支え方は多様である (2) 山形市明治・大郷地区「スマイル・グリーン号」の実践 (3) 行政や交通事業者には何が出来るのか？
	8. 質疑応答・意見交換 吉田講師と公共交通の近未来を語り合い、意見交換する機会です。

2007年東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了。首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント、同助教を経て、2012年3月より福島大学つくしまふくしま未来支援センター特任准教授。2013年4月より現職。専門分野は、地域交通政策。国土交通省社会資本整備審議会の臨時委員として、交通基本法案の検討に関わった。また、八戸市、三沢市、十和田市などの公共交通政策に携わる。第25回交通図書賞（第一部経済・経営部門）受賞（『生活支援の地域公共交通（学芸出版社）』）。地域公共交通活性化・再生優良団体大臣表彰（2011年）、JCOMMマネジメント賞（2013年）（いずれも、八戸市における戦略的公共交通マネジメントに関する受賞）。

【研修会の参加要領】

■日時：2015年3月23日(月) 13:00～17:00
■会場：内田洋行東京ユビキタス協創広場CANVAS・会議室
東京都中央区新川2-4-7(案内図は申込後送付)

■申込方法：下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)。

※メディア参加申込の方へは研修会終了後にCD(講演音声収録)と資料及び請求書をお送り致します。

■参加費(1名分)

	当日参加	メディア参加
行政・議員	15,000円	18,000円
一般	25,000円	28,000円

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合はメディア参加とさせていただきます。

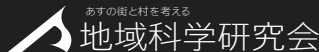
■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替)
・現金書留・当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660

口座名: 地域科学研究会

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 2015年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

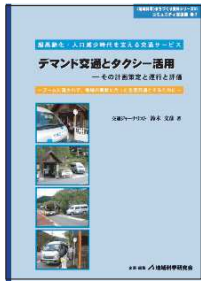
■研修会の参加 『地域公共交通政策の策定・推進とまちづくりとの連動』 : 当日参加 メディア参加

■出版物の購入 『デマンド交通とタクシー活用』 _____冊 『新制度「地域公共交通活性化・再生法」』 _____冊
『交通権(移動権)の保障制度』 _____冊

勤務先(請求書宛名等) _____ 所在地〒 _____ 連絡担当者 _____
TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____
〈通信欄〉○をつけてください
・支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)
・必要書類(納品書・請求書・見積書)

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。



急増する 通院・買物・通学(高校)難民のための 喫緊の交通サービス— デマンド交通とタクシー活用 —その計画策定と運行と評価 —ブームに流されず、地域の実状に合った交通とするために—

■体裁：B5判/160頁
 ■発行：2013年3月15日
 ■定価：5,119円(税・送料込)
 (本体：4,740円)
 ■参加者特価：4,700円
 (税・送料込)

◎本書を推薦します
太田 勝敏 東京大学名誉教授・(公財)豊田都市交通研究所所長
中村 文彦 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院長・教授

鈴木 文彦 著
 交通ジャーナリスト

【略歴】東京学芸大学大学院修士課程(地理学)修了。フリーの交通ジャーナリストとして月刊誌「鉄道ジャーナル」等交通専門誌に記事・論文多数。特定非営利法人日本バス文化保存振興委員会副理事長。国土交通省「今後のバスサービス活性化方策検討小委員会(2006年度)」「バス産業勉強会(2008年度)」、地域公共交通活性化・再生法定協議会(山口市、東京・檜原村他多数)、地域公共交通会議(新宿区、八王子市、小平市他多数)等多くの国・自治体の委員会・会議に参画。

【本書の特徴】

- ◎全国で地域生活交通の検討に携わる著者が紐解くデマンド交通40年の歴史と約200の事例の評価(図表・写真・資料等を収録)
- ◎ブームの危険性と計画者、事業者に求められる考え方
- ◎究極のデマンド交通としてのタクシーの活用戦略

第1章 デマンド交通の特性と導入事例増加の背景

1. デマンド交通～その歩みと特性～
2. 地域公共交通の維持・活性化の視点から見る
 デマンド交通とその位置づけ
3. デマンド交通導入事例増加の背景

第2章 デマンド交通「ブーム」の落とし穴と

1. デマンド交通の落とし穴
 デマンド交通の特性・適性
2. デマンド交通の特性・適正と課題
 ～本当にデマンド交通が必要とされているのか～

第3章 デマンド交通とネットワーク構築、事業採算と事業者参画

1. 交通ネットワーク構築上の役割
 ～デマンド交通と路線バス、タクシー、STSとの機能分担
2. デマンド交通の事業採算のあり方と運行事業者の参画

第4章 タクシー活用戦略とデマンド交通の近未来

1. どんなロケーションにどのようなデマンド交通が効果的なのか
2. タクシーは究極のデマンド交通
 ～一般タクシーを活用した生活交通確保への挑戦～
3. 超高齢化・人口減少社会におけるデマンド交通の近未来像

第5章 [Q&A] 講師と参加者によるネクストステージへの模索

まちづくり資料
 シリーズ31-⑥



行政・交通事業者・地域・利用者の連携・協働による交通まちづくり

地域公共交通活性化・再生法

～そのねらいと運用、先行都市
 にみる導入の方策と計画の手法～

【監修】山本雄二郎(高千穂大学客員教授)
 鈴木 文彦(交通ジャーナリスト)
 A4判 214頁/08.6刊 定価 10,275円(税・送料込)
 (本体：9,514円)
 参加者特価 9,500円
 (税・送料込)

第1編 新制度が目指す地域公共交通の活性化支援の

- 仕組みと体制・運営方策**
- 第1章 地域公共交通の活性化・再生に向けて
 国土交通省総合政策局交通計画課地域振興室長/城福健陽
 - 第2章 「田原市地域公共交通戦略計画」策定に向けた体制づくりと運営
 愛知県田原市福祉部福祉課長/白井英俊
 - 第3章 全国初の法定協議会設置と「秋田市公共交通政策ビジョン」の策定
 秋田市都市整備部長/中澤篤志
 - 第4章 マイカー依存型社会における地域公共交通の活性化と再生に向けた取り組み
 交通ジャーナリスト/鈴木文彦

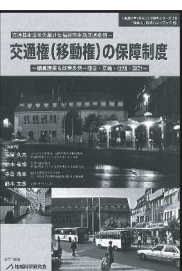
第2編 生活交通への新制度活用と自治体・事業者に求められる役割

- 第1章 [討論会主旨] 地域生活交通の「維持から活性化」に向けて 山本雄二郎
- 第2章 [討論会] 地域公共交通活性化・再生法の活用と地域生活交通の再構築
 司会：山本雄二郎 パネラー：城福健陽/白井英俊/中澤篤志/鈴木文彦

第3編 先駆自治体の公共交通計画の策定と実践

- 行政が交通まちづくりに取り組む意義と効用—
- 第1章 武蔵野市市民交通計画の目標と内容、実践と改訂のプロセス
 元武蔵野市収入役/山梨 榮
 - 第2章 「田原市地域公共交通戦略計画」の構成・内容と策定上の留意点
 田原市/白井英俊
 - 第3章 檜原村地域公共交通総合連携計画と新交通システム実証運行事業の取り組み
 東京都檜原村村長/坂本義次
 - 第4章 丹後地域公共交通ネットワーク改善実行計画の策定経緯と事業概要
 京都府建設交通部交通対策課副課長/寺井 豊

まちづくり資料
 シリーズ36-②



福岡市：交通(政策)基本法(案)を先駆けた生活交通条例制定
 —市民生活の足の確保—

交通権(移動権)の保障制度

～議員提案&政策条例—理念・意義・仕組・設計～

■体裁：B5判/164頁
 ■発行：2010年10月
 ■定価：3,780円(税込,送料350円)
 (本体：3,500円)
 ■参加者特価：3,780円
 (税込,送料込)

【執筆陣】
 栃木 義博/九州大学名誉教授
 福留 久大/福岡市議会議員(民主党)
 寺島 浩幸/前・福岡市議会事務局調査法制課
 鈴木 文彦/交通ジャーナリスト

序章 生活交通の公共的確保—福岡市交通条例の意義 福留久大

1章 生活交通条例ができるまで

- 1章-1 議会による条例制定の背景とねらい、交通基本法への期待
 ～議会・行政・市民・事業者の一体的な取組みの推進に向けて～ 栃木義博

- 1章-2 「公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例」について～主に政策法務的視点から～ 寺島浩幸
- 2章 これからの地域公共交通
 - 2章-1 交通サービスをどう確保するか～地域生活交通確保に向けた自治体の取組みにみる課題と可能性～ 鈴木文彦
 - 2章-2 行政・議会として生活交通確保にどう取り組むか
 地域科学研究会/緑川富美雄
- 3章 [パネル討論] 持続性のある地域公共交通の確保に向けて
 栃木義博/寺島浩幸/鈴木文彦/緑川富美雄(進行)
- 4章 想定問答：福岡市生活交通条例案